

1 学 期	Part 2 Lesson 2 : School Subjects 【知識及び技能】 学校の教科について、「依頼する」「理由を聞く・述べる」などの表現を含めて、コミュニケーションを図る技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 「依頼する」「理由を聞く・述べる」表現に注意して、相手の発言の意味を理解して対話を行う。 【学びに向かう力、人間性等】 さまざまな教科・科目を表す語句などを習得しようとしている。	左記の目標に書かれた内容を指導する。								単元の目標を高度に達成していると考えられる場合はA,十分に達成していると考えられる場合はB,B未達はCとする。 この授業では、その単元で習う文法の理解度の他、その文法を使って自身や身の回りのことなどについて表現する力も評価する。そのため、その単元で習った文法を用いて実際に自身や身の回りのことについて作文をしたり、それを用いて実際に使う場面を想定しコミュニケーションを図ることも評価する。						2	
	定期考査																1
	Part 1 Lesson 7 : My Town 【知識及び技能】 「完了・結果」「経験」「状態の継続」「動作の継続」の意味を表すにはどのような表現を用いるのかを理解している。 現在完了（進行）形、過去完了（進行）形の用法のほかに、move to, have been to, for hours, before, until, be a fan of などの語彙や表現を習得している。 【思考力、判断力、表現力等】 「完了・結果」「経験」「状態・動作の継続」の意味の違いに注意して個々の英文の内容を理解し、適切な思考・判断をもってそれに応答する。 【学びに向かう力、人間性等】 ある時点までの経験や継続される動作の内容を述べる表現などを習得しようとしている。	左記の目標に書かれた内容を指導する。 また、過去完了形を用いて過去のある時点より前のことについて表現し、JETに添削してもらおう。								単元の目標を高度に達成していると考えられる場合はA,十分に達成していると考えられる場合はB,B未達はCとする。 この授業では、その単元で習う文法の理解度の他、その文法を使って自身や身の回りのことなどについて表現する力も評価する。そのため、その単元で習った文法を用いて実際に自身や身の回りのことについて作文をしたり、それを用いて実際に使う場面を想定しコミュニケーションを図ることも評価する。						4	
	Part 1 Lesson 8 : Our Teachers 【知識及び技能】 英語で「可能」「許可」「推量」の意味を表すにはどのような表現を用いるのかを理解している。 身近な人に対して依頼したり許可を求めたり、また、身近な人の行動・状況などを推測したりするなどして、コミュニケーションを図る技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 can, be able to, mayを用いて「可能」「許可」の意味を表現したり、may, must, can't/cannotを用いて「推量」の意味を表現したりする。 「可能」「許可」「推量」の意味に注意して、個々の英文の内容を理解し、適切な思考・判断をもってそれに応答する。 【学びに向かう力、人間性等】 助動詞による丁寧さの違いを認識して、話し相手に応じて適切にコミュニケーションを行おうとしている。	左記の目標に書かれた内容を指導する。 また、canを用いて、依頼の表現や「しやうがない」ことを表現し、JETに添削してもらい、書く力・表現する力を養う。								単元の目標を高度に達成していると考えられる場合はA,十分に達成していると考えられる場合はB,B未達はCとする。 この授業では、その単元で習う文法の理解度の他、その文法を使って自身や身の回りのことなどについて表現する力も評価する。そのため、その単元で習った文法を用いて実際に自身や身の回りのことについて作文をしたり、それを用いて実際に使う場面を想定しコミュニケーションを図ることも評価する。						3	
	Part 1 Lesson 9 : Visiting a Museum 【知識及び技能】 英語で「助言・義務」「必要・不必要」「禁止」「過去に関する推量・後悔など」の意味を表すにはどのような表現を用いるのかを理解している。 身近な人に対して提案や必要などを伝えたり、また、身近な人の過去の行動・状況などを推測したりして、コミュニケーションを図る技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 should, must, have toを用いて「助言・義務・必要」の意味を表現したり、must not/mustn'tを用いて「禁止」の意味を、don't have toを用いて「不必要」の意味を表現したりする。 また、may/must, can't + have + 過去分詞を用いて「過去に関する推量」の意味を表現したり、should + have + 過去分詞を用いて「過去に関する後悔」の意味を表現したりする。 【学びに向かう力、人間性等】 「義務」「禁止」「過去の推量」の対象となる行動の内容を述べる表現などを習得しようとしている。	左記の目標に書かれた内容を指導する。 また、「～すべきだったのに」という過去の後悔の内容について表現し、JETに添削してもらおう。 さらに、それを伝え合う。								単元の目標を高度に達成していると考えられる場合はA,十分に達成していると考えられる場合はB,B未達はCとする。 この授業では、その単元で習う文法の理解度の他、その文法を使って自身や身の回りのことなどについて表現する力も評価する。そのため、その単元で習った文法を用いて実際に自身や身の回りのことについて作文をしたり、それを用いて実際に使う場面を想定しコミュニケーションを図ることも評価する。						3	
	定期考査																1
	Part 1 Lesson10 : Famous People 【知識及び技能】 look, keep, make, giveなどの動詞の使い方を理解するとともに、文の構造の種類を理解する。 【思考力・判断力・表現力】 give, sentを使った文型と、make, keepを使った文型の文構造の違いについて考える。 【学びに向かう力、人間性等】 nameやcallなどの動詞を使い自己紹介や他己紹介をし、相手の名前由来や呼び名について知ろうとする。	左記の目標に書かれた内容を指導する。 また、nameやcallを使い自己の名前の由来や呼び名について表現し、JETに添削してもらおう。								単元の目標を高度に達成していると考えられる場合はA,十分に達成していると考えられる場合はB,B未達はCとする。 この授業では、その単元で習う文法の理解度の他、その文法を使って自身や身の回りのことなどについて表現する力も評価する。そのため、その単元で習った文法を用いて実際に自身や身の回りのことについて作文をしたり、それを用いて実際に使う場面を想定しコミュニケーションを図ることも評価する。						3	

<p>Part 1 Lesson11 : Reading</p> <p>【知識及び技能】 「受け身」の意味を表すにはどのような表現を用いるのかを理解している。 建物などの説明、オンラインショッピングなどの場面で、受け身の表現を用いてコミュニケーションを図る技能を身につけている。 【思考力・判断力・表現力等】 「受け身」の肯定文や否定文、助動詞や「進行形」を用いて「受け身」の意味を表現する。また、be known to, be satisfied with など、by 以外の前置詞を使う「受け身」の表現を用いる。 【学びに向かう力、人間性等】 「受け身」を使用するのが適切な場面や状況を理解して、コミュニケーションを図ろうとしている。</p>	<p>左記の目標に書かれた内容を指導する。 また、受動態を用い建物や橋など、いつ、どこで、誰に作られたかなどを表現しJETに添削してもらう。</p>	○	○	○	○	<p>単元の目標を高度に達成していると考えられる場合はA,十分に達成していると考えられる場合はB,B未達はCとする。 この授業では、その単元で習う文法の理解度の他、その文法を使って自身や身の回りのことなどについて表現する力も評価する。そのため、その単元で習った文法を用いて実際に自身や身の回りのことについて作文をしたり、それを用いて実際に使う場面を想定しコミュニケーションを図ることも評価する。</p>	○	○	○	○	2
<p>Part 1 Lesson12 : Studying Abroad</p> <p>【知識及び技能】 to不定詞の「～すること」「～する方法」「～するための」という表現について理解している。 また、It is ~ to... の構造についても理解している。 【思考・判断・表現】 上記の表現を使って、道順を尋ねたり、何かの仕方を探ねたりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 不定詞の「名詞的用法」「形容詞的用法」「疑問詞+to-不定詞」の意味に注意して、個々の英文の意味を理解し、適切な思考・判断をもってそれに応答する。</p>	<p>左記の目標に書かれた内容を指導する。 また、新年の抱負や将来の予定などについて、不定詞を用いて表現し、JETに添削してもらう。 さらに、それを伝え合う。</p>	○	○	○	○	<p>単元の目標を高度に達成していると考えられる場合はA,十分に達成していると考えられる場合はB,B未達はCとする。 この授業では、その単元で習う文法の理解度の他、その文法を使って自身や身の回りのことなどについて表現する力も評価する。そのため、その単元で習った文法を用いて実際に自身や身の回りのことについて作文をしたり、それを用いて実際に使う場面を想定しコミュニケーションを図ることも評価する。</p>	○	○	○	○	2
<p>Part 1 Lesson13 : Advice</p> <p>【知識及び技能】 「～するために」「～して」や「…に～するよう頼む」「…が～するのを見る」などの意味を表す表現を理解している。 依頼や承諾などをする場面で不定詞を用いてコミュニケーションを図る技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 to-不定詞の副詞的用法を用いて「目的・原因」「判断の理由」などの意味を表現する。 また、(S+V+O+to-不定詞)の構文を用いて「願望」「使役・許可」「命令・指示・依頼」などの意味や、(S+V+O+原形不定詞)の構文を用いて「…が～するのを見る【聞くなど】」「…に～させる」の意味を表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 「目的」「原因」「判断の根拠」となる行為や、(SV)O+(to-)不定詞で表される行動の内容を述べる表現を習得しようとしている。</p>	<p>左記の目標に書かれた内容を指導する。 また、ask/let/makeなどを使い、人に依頼したり人から許可を得る表現を書き、JETに添削してもらう。</p>	○	○	○	○	<p>単元の目標を高度に達成していると考えられる場合はA,十分に達成していると考えられる場合はB,B未達はCとする。 この授業では、その単元で習う文法の理解度の他、その文法を使って自身や身の回りのことなどについて表現する力も評価する。そのため、その単元で習った文法を用いて実際に自身や身の回りのことについて作文をしたり、それを用いて実際に使う場面を想定しコミュニケーションを図ることも評価する。</p>	○	○	○	○	2
<p>Part 2 Lesson 3 : Free Time</p> <p>【知識及び技能】 余暇の過ごし方や趣味などについて、「確認する」「訂正する」などの表現を含めて、コミュニケーションを図る技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 自分の考えが理解されるように、付加疑問、actually, You mean ~? を用いて「確認」「訂正」の意味を表現する。 「確認」「訂正」の意味に注意して、相手の発言の意味を理解して対話を行う。 「映画を家で見るのと映画館で見るのでは、どちらが好きか」などの話題に対して、自分の意見とその理由を正しく伝え、また他人の意見が妥当であるかを判断して発言する。 【学びに向かう力、人間性】 余暇の過ごし方や身の回りのことを述べる表現などを習得しようとしている。</p>	<p>左記の目標に書かれた内容を指導する。</p>	○	○	○	○	<p>単元の目標を高度に達成していると考えられる場合はA,十分に達成していると考えられる場合はB,B未達はCとする。 この授業では、その単元で習う文法の理解度の他、その文法を使って自身や身の回りのことなどについて表現する力も評価する。そのため、その単元で習った文法を用いて実際に自身や身の回りのことについて作文をしたり、それを用いて実際に使う場面を想定しコミュニケーションを図ることも評価する。</p>	○	○	○	○	1
<p>Part 2 Lesson 4 : Feeling Well?</p> <p>【知識及び技能】 会話の相手の体調などについて、「心配する」「助言する」などの表現を含めて、コミュニケーションを図る技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 「心配する」「助言する」表現に注意して、相手の発言の意味を理解して対話を行う。 「先生・友人や本などから得た有益なアドバイス」などの話題に対して、自分の経験や考えなどを正しく伝える。 【学びに向かう力、人間性】 病気やけがの名称、症状や原因・状況、対処に関する語句や表現などを習得しようとしている。</p>	<p>左記の目標に書かれた内容を指導する。</p>	○	○	○	○	<p>単元の目標を高度に達成していると考えられる場合はA,十分に達成していると考えられる場合はB,B未達はCとする。 この授業では、その単元で習う文法の理解度の他、その文法を使って自身や身の回りのことなどについて表現する力も評価する。そのため、その単元で習った文法を用いて実際に自身や身の回りのことについて作文をしたり、それを用いて実際に使う場面を想定しコミュニケーションを図ることも評価する。</p>	○	○	○	○	2
<p>定期考査</p>		○	○	○	○		○	○	○	○	1

期	<p>Part 1 Lesson14 : Hobbies</p> <p>【知識及び技能】 動名詞を用いて「(…が)～すること」「～しないこと」の意味を表すことには、どのような表現を用いるのかを理解している。 自分が計画していることや余暇の過ごし方などについて、不定詞・動名詞を用いてコミュニケーションを図る技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 動名詞を用いて「～すること」、「…が～すること」、「～しないこと」をそれぞれ英語で表現する。 動名詞だけを目的語にとる動詞、to-不定詞だけを目的語にとる動詞、両方を目的語にとり意味が異なる動詞に注意して、「～すること」を英語で表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 趣味・謝罪・依頼を述べる表現などを習得しようとしている。</p>	<p>左記の目標に書かれた内容を指導する。 また、自分が計画していることや余暇の過ごし方などについて、不定詞・動名詞を用いて表現し、JETに添削してもらう。 さらに、それを伝え合う。</p>	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3
	<p>Part 1 Lesson15 : My Vacation</p> <p>【知識及び技能】 英語で「～している…」や「～された…」と名詞を説明する場合や、「～しながら…する」、「～しているのを…する」などの意味を表すにはそれぞれどのような表現を用いるのかを理解している。 【思考・判断・表現】 現在分詞、過去分詞を用いて、それぞれ「～している…」「～された…」と名詞を説明する表現を行う。 現在分詞、過去分詞に注意して、個々の英文の意味を理解し、適切な思考・判断をもってそれに応答する。 【学びに向かう力、人間性等】 分詞の後置修飾や、<SVC [=分詞]>、<SVOC [=分詞]>で表現される内容の語彙などを習得しようとしている。</p>	<p>左記の目標に書かれた内容を指導する。 また、幼いころの思い出や写真に収められた休暇の情景などについて分詞・動名詞を用いて表現し、JETに添削してもらう。</p>	○	○	○	○	○	○	○	○	○	2
	<p>Part 1 Lesson16 : In a Zoo</p> <p>【知識及び技能】 英語で「2つ以上のものを比較する」にはどのような表現を用いるのかを理解している。 数量の比較や自分の嗜好・価値観などの話題について、比較表現を用いてコミュニケーションを図る技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 身の回りの事象について、<as+原級+as> や <not as+原級+as> を用いて「同じくらい～である」や「…ほど～でない」の意味を、<比較級+than> を用いて「…より～である」の意味を表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 同等比較や比較級を用いての比較がよく用いられる語彙などを習得しようとしている。</p>	<p>左記の目標に書かれた内容を指導する。 また、二択の疑問文で、どちらがより好きか、どちらがより大切かについて比較を用いて表現し、JETに添削してもらう。</p>	○	○	○	○	○	○	○	○	○	2
	<p>Part 1 Lesson17 : Our Team</p> <p>【知識及び技能】 最上級や倍数表現、「できるだけ～」を表すには、どのような表現を用いるのかを理解している。 また、学校での活動や図表の内容に関して、比較表現を用いてコミュニケーションを図る技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 最上級を用いて程度が最も高いことを表現する。また、それに伴い、比較の範囲や対象を表したり、序数詞を用いて「何番めに～である」と表現したりする。 【学びに向かう力、人間性等】 最上級、倍数表現、<as ~ as one can> でよく用いられる語彙などを習得しようとしている。</p>	<p>左記の目標に書かれた内容を指導する。 また、序数や倍数を用いて周りの物事を表現し、JETに添削してもらう。</p>	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3
	<p>Part 2 Lesson 5 : Homework</p> <p>【知識及び技能】 家事への関与などについて、「義務」「必要」などの表現を含めて、コミュニケーションを図る技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 「義務」「必要」の意味に注意して、相手の発言の意味を理解して対話を行う。 「家事の分担」などの話題に対して、自分の経験や考えなどを正しく伝える。 【学びに向かう力、人間性等】 家事を表す語句やその関与を述べる表現などを習得しようとしている。</p>	<p>左記の目標に書かれた内容を指導する。</p>	○	○	○	○	○	○	○	○	○	2

	Part 2 Lesson 6 : The Internet Is Fun 【知識及び技能】 インターネットの使用などについて、「確信」「期待」などの表現を含めて、コミュニケーションを図る技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 「期待」「確信」の意味に注意して、相手の発言の意味を理解して対話を行う。 「スマートフォンの適切な使用」などの話題に対して、自分の意見やその理由などを正しく伝える。 【学びに向かう力、人間性】 インターネットの歴史や、長所・短所を述べる表現などを習得しようとしている。	左記の目標に書かれた内容を指導する。							単元の目標を高度に達成していると考えられる場合はA、十分に達成していると考えられる場合はB、B未満はCとする。 この授業では、その単元で習う文法の理解度の他、その文法を使って自身や身の回りのことなどについて表現する力も評価する。そのため、その単元で習った文法を用いて実際に自身や身の回りのことについて作文をしたり、それを用いて実際に使う場面を想定しコミュニケーションを図ることも評価する。					1
	定期考査													1
	Part 1 Lesson18 : Neighbors 【知識及び技能】 関係代名詞を用いて名詞を説明する表現を理解している。 家族・知人や身の回りの物に関して、関係代名詞を用いてコミュニケーションを図る技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 関係代名詞を用いて、「人」や「物・事」を説明する。その場合に、関係詞節内での関係詞の働き(主語・目的語)や、先行詞と関係詞節内での動詞の呼応に注意する。 関係詞を省略する場合や、先行詞が前置詞の目的語にあたる場合に注意して表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 知り合いや身の回りの物品を説明する場合の語彙などを習得しようとしている。	左記の目標に書かれた内容を指導する。 また、関係代名詞を用いて家族や知人などについて表現し、JETに添削してもらおう。							単元の目標を高度に達成していると考えられる場合はA、十分に達成していると考えられる場合はB、B未満はCとする。 この授業では、その単元で習う文法の理解度の他、その文法を使って自身や身の回りのことなどについて表現する力も評価する。そのため、その単元で習った文法を用いて実際に自身や身の回りのことについて作文をしたり、それを用いて実際に使う場面を想定しコミュニケーションを図ることも評価する。					4
	Part 1 Lesson19 : Speeches 【知識及び技能】 関係代名詞 what や関係副詞を用いて「～すること、～するもの」、「～する場所[時、理由、方法]」という意味を英語で表現するにほどのようにすればよいかを理解している。 自分のほしいもの、四季のうちの1つ、自分が過ごしてみたい国などについて、関係詞を用いてコミュニケーションを図る技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 関係代名詞 what を用いて、「～すること、～するもの」や、「いわゆる」「さらに～なことには」の意味を表現する。 関係副詞 where, when などを用いる場所・時などについて表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 関係代名詞whatや関係副詞を用いての表現で、よく用いられる語句などを習得しようとしている。	左記の目標に書かれた内容を指導する。 また、自分の欲しいものや必要なことなどを表現し、JETに添削してもらおう。							単元の目標を高度に達成していると考えられる場合はA、十分に達成していると考えられる場合はB、B未満はCとする。 この授業では、その単元で習う文法の理解度の他、その文法を使って自身や身の回りのことなどについて表現する力も評価する。そのため、その単元で習った文法を用いて実際に自身や身の回りのことについて作文をしたり、それを用いて実際に使う場面を想定しコミュニケーションを図ることも評価する。					4
3 学 期	Part 1 Lesson20 : My Wish 【知識及び技能】 英語で「現在や過去の仮定」の話をする場合や、「現在や過去と異なる願望」を表すにはどのような表現を用いるのかを理解している。 自分が考える願望や仮定の状況について、仮定法を用いてコミュニケーションを図る技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 〈If+S' +動詞の過去形, S+助動詞の過去形+動詞の原形〉を用いて、「現在的事実と異なる仮定」を、「If+S' +動詞の過去完了形, S+助動詞の過去形+have+過去分詞」を用いて、「過去的事実と異なる仮定」を表現する。 〈I wish+仮定法〉の構文を用いて、事実と異なる願望を表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 仮定法を用いる状況に付随する状況を述べる表現などを習得しようとしている。	左記の目標に書かれた内容を指導する。 また、現在や過去について願うことを仮定法を用いて表現し、JETに添削してもらおう。 さらにそれを伝え合う。							単元の目標を高度に達成していると考えられる場合はA、十分に達成していると考えられる場合はB、B未満はCとする。 この授業では、その単元で習う文法の理解度の他、その文法を使って自身や身の回りのことなどについて表現する力も評価する。そのため、その単元で習った文法を用いて実際に自身や身の回りのことについて作文をしたり、それを用いて実際に使う場面を想定しコミュニケーションを図ることも評価する。					5
	Part 2 Lesson 7 : I've Lost Your Book 【知識及び技能】 自分や他人の失敗などについて、「謝罪する、謝罪に応じる」などの表現を含めて、コミュニケーションを図る技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 「謝罪する」「謝罪に応じる」表現に注意して、相手の発言の意味を理解して対話を行う。 「謝罪のときに気をつける点」などの話題に対して、自分の意見やその理由などを正しく伝える。 【学びに向かう力、人間性】 自分の過失を説明する表現などを習得しようとしている。	左記の目標に書かれた内容を指導する。							単元の目標を高度に達成していると考えられる場合はA、十分に達成していると考えられる場合はB、B未満はCとする。 この授業では、その単元で習う文法の理解度の他、その文法を使って自身や身の回りのことなどについて表現する力も評価する。そのため、その単元で習った文法を用いて実際に自身や身の回りのことについて作文をしたり、それを用いて実際に使う場面を想定しコミュニケーションを図ることも評価する。					1

<p>Part 2 Lesson 8 : Planning a Trip</p> <p>【知識及び技能】 旅行や休日の過ごし方などについて、「計画」「予定」などの表現を含めて、コミュニケーションを図る技能を身につけている。</p> <p>【思考・判断・表現】 「計画」「予定」の意味に注意して、相手の発言の意味を理解して対話を行う。 「個人での旅行とグループでの旅行のどちらがよいか」などの話題に対して、自分の意見やその理由などを正しく伝える。</p> <p>【学びに向かう力、人間性】 予定・計画される行動の内容を述べる表現などを習得しようとしている。</p>	<p>左記の目標に書かれた内容を指導する。</p>	○	○	○	○	<p>単元の目標を高度に達成していると考えられる場合はA,十分に達成していると考えられる場合はB,B未達はCとする。 この授業では、その単元で習う文法の理解度の他、その文法を使って自身や身の回りのことなどについて表現する力も評価する。そのため、その単元で習った文法を用いて実際に自身や身の回りのことについて作文をしたり、それを用いて実際に使う場面を想定しコミュニケーションを図ることも評価する。</p>	○	○	○	2
<p>定期考査</p>		○	○		○		○			1
										合計
										70